



システム メッセージの形式

この章では、Cisco IOS システム メッセージの構造およびエラー メッセージ トレースバック レポートについて説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [メッセージの構造 \(p.1-2\)](#)
- [エラー メッセージ トレースバック レポート \(p.1-5\)](#)

メッセージの構造

メッセージに含まれる情報は、次のとおりです。

- ファシリティ コード
- 重大度
- ニーモニック コード
- 記述フィールド

システム エラー メッセージの構造は、次のとおりです。

ファシリティ - 重大度 - ニーモニック : メッセージテキスト

ファシリティ コード

ファシリティ コードは2つ以上の大文字で構成され、メッセージに関連したファシリティを示します。ファシリティにはハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェア モジュールがあります。表 1-1 に、システムのファシリティ コードを示します。

表 1-1 ファシリティ コード

コード	ファシリティ
ACL	Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト)
ACLSNOOPMAN	ACL スヌーピング
ARPSNOOPINGMAN	ARP スヌーピング
BUFFERMANAGER	メモリ バッファ管理
CHASSIS	シャーシ
COMMONHWACLMAN	共通ハードウェア ACL 管理
COMMONSTUBMAN	ASIC 固有のメッセージ
DHCP_SNOOPING	DHCP (動的ホスト制御プロトコル) スヌーピング メッセージ
DOT1X	802.1X 関連のポートベース認証
DTP	Dynamic Trunking Protocol (DTP; ダイナミック トランッキング プロトコル)
EBM	イーサネットブリッジ管理
EC	EtherChannel
FLASH	フラッシュ メモリ
GBICMAN	Gigabit Interface Converter (GBIC; ギガビット インターフェイス コンバータ) マネージャ
HW	ハードウェア
HWACLMAN	ハードウェア ACL 管理
HWL2MAN	レイヤ2 ハードウェア管理
HWNFLOWMAN	NetFlow 管理
HWPORTMAN	ハードウェア ポート管理
IDBMAN	インターフェイス記述子ブロック管理
ILCPROTOCOLERROR	ILC プロトコル
IOSACLMAN	Cisco IOS ACL 管理
IOSDIAGMAN	Cisco IOS 診断マネージャ
IOSDHCP SnoopMAN	Cisco IOS DHCP スヌープ管理

表 1-1 ファシリティコード (続き)

コード	ファシリティ
IOSIGMPSNOOPMAN	Cisco IOS IGMP (インターネット グループ管理プロトコル) スヌープ管理
IOSINTF	Catalyst 4500 IOS インターフェイスの動作
IOSIPROUTEMAN	Cisco IOS IP ルート マネージャ
IOSL2MAN	Cisco IOS レイヤ 2 マネージャ
IOSL3MAN	Cisco IOS レイヤ 3 マネージャ
IOSMODPORTMAN	Cisco IOS モジュール ポート マネージャ
IOSREDUNDANCYMAN	Cisco IOS 冗長マネージャ
IOSSYS	Catalyst 4500 IOS システム
IOSSYSMAN	Catalyst 4500 IOS システム管理
IPROUTEMAN	Catalyst 4500 IOS IP ルーティング管理
L2MAN	レイヤ 2 ハードウェア管理
L3HWFORWARDING	レイヤ 3 ハードウェア転送
LINECARDMGMTPROTOCOL	ラインカード管理プロトコル
LOGGING_REDIRECT	ロギング リダイレクト ISSU
LPIPMAN	LAN Port IP (LPIP) ダイナミック ホスト ポリシー
PKTPROCESSING	パケット処理
PM	ポート マネージャ
PORTFANOUTASIC4X1000MAN	ポート ファンアウト ASIC 4x1000 管理
PORTFANOUTASIC8X1000HW	ポート ファンアウト ASIC 8x1000 ハードウェア
PORTFANOUTASIC8X100MAN	ポート ファンアウト ASIC 8x100 管理
QOS	QoS (Quality of Service)
REDUNDANCY	冗長スーパーバイザ
S2W	カレンダー
SPD	SPD
SFF8472	浮動小数点サブシステム (SFF8472)
SPAN TREE	Spanning-Tree Protocol (STP; スパニング ツリー プロトコル)
SPAN TREE_VLAN_SW	スパニング ツリー VLAN (仮想 LAN) スイッチ管理
STORM_CONTROL	ブロードキャスト ストーム制御
STORE	メモリ
SUPERVISOR	スーパーバイザ
SWITCH-QoS-TB	スイッチ QoS 管理
SW_DAI	ダイナミック ARP インスペクション
SW-VLAN	スイッチ VLAN 管理
SWITCHINGENGINE MAN	スイッチング エンジン管理
SWITCHMANAGER	スイッチ管理
SWNETFLOWMAN	ソフトウェア NetFlow 管理
SYSMAN	システム管理
TRANSCIEVER	TRANSCEIVER サブシステム
UFAS_MCAST_SW	UplinkFast
VQCLIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント
WATCHDOG	ウォッチドッグ タイマー

重大度

重大度は 0 ～ 7 の 1 桁のコードで、状態の重大度を表します。数字が小さいほど深刻な状況です。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0	緊急 — システムが使用不可能な状態
1	アラート — ただちに対応が必要な状態
2	クリティカル — クリティカルな状態
3	エラー — エラー状態
4	警告 — 警告状態
5	通知 — 正常だが注意を要する状態
6	情報 — 単なる情報メッセージ
7	デバッグ — デバッグ時に限り表示されるメッセージ

ニーモニック コード

ニーモニック コードは、エラー メッセージを一意に識別するためのコードです。ニーモニックは例外なく、すべて大文字の文字列です。

メッセージ テキスト

メッセージ テキストはエラー状態を記述した文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワーク アドレス、またはシステム メモリ アドレス スペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージの可変フィールドを示します。

表 1-3 メッセージの可変フィールドの表記

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[chars] または [char]	文字列
[hex]	16 進整数
[num]	番号

システム エラー メッセージの例

次に、システム エラー メッセージの例を示します。

エラー メッセージ LINK-2-BADVCALL: Interface [chars], undefined entry point

エラー メッセージによっては、エラーを通知しているカードおよびスロットを示すものがあります。このようなエラー メッセージの構造は、次のとおりです。

カード- 重大度-MSG: スロット ファシリティ- 重大度- ニーモニック: メッセージテキスト

- カードは、エラーを通知しているカードのタイプを示すコードです。
- MSG は、これがメッセージであることを示すニーモニックです。常に MSG で表されます。
- スロットは、エラーを通知しているカードのスロット番号です。SLOT に数字を付けた形で表されます (たとえば、SLOT5)。

エラー メッセージ トレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。ここから、メッセージの原因になったファンクション コールのスタック トレースが得られます。このトレースは、メッセージで通知された問題をエンジニアが特定するのに役立ちます。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときは、この情報を提出してください。

次に、トレースバック レポートに含まれる情報の例を示します。

-Process= "Exec", level= 0, pid= 17

-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860

例に含まれている数字は、メッセージの原因となったコードの行を示します。

